

ボードゲーム好きにおくるチョイ読みペーパー

メビテン!

mebiten.jp

— ○○好きに贈る —
コレちょっと遊んでみて!

.....
若手に好き勝手に言わせてくれ
.....

謎解きラリー2024

.....
第18回カルカソンス世界大会に
出場するのは誰!?
.....

まつながのふりがえりコラム



2024.09
TAKE FREE

vol.21

〇〇好きに贈る

コレちょっと遊んでみて!

立体&ペア戦でひと味違った楽しさ



ウボンゴ好きに贈る

レクト・ベルソ



タイルを組み合わせて決められた枠の中を埋めるパズル系ゲームの人気作「ウボンゴ」。ちょっと違ったパズルゲームに挑戦したいと思ったなら「レクト・ベルソ」はいかがでしょうか。「レクト・ベルソ」がユニークな点はなんと言っても「二人組」でパズルに挑戦するという。向かい合わせに座り、それぞれがカードに描かれた通り、正しく見えるようにブロックを積み上げなければなりません。自分から見てカードの通りだったとしても、相手から見て正しいとは限りません。一人でパズルに挑戦するのも楽しいですが、時にはペア戦も楽しいですよ。

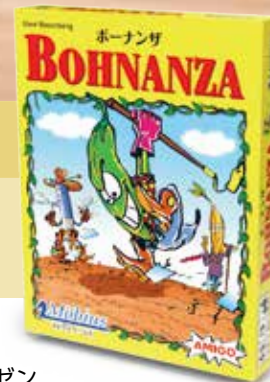
次にどんなゲームで遊ぼうか? — そんなときに、自分の好きなゲームや有名作から広げていく、なんていう選び方もいいものです。そこで、今回は、さまざまなゲームタイトルを元にしたゲーム選びをお送りしたいと思います。そして、ここに出ていないタイトルにもきっと活かせるヒントになるはずです。

実はカードゲームデザインの名手!?



ウヴェ・ローゼンベルク好きに贈る

ボーナンザ



「アグリコラ」発表以降、ワーカプレースメントのゲームを軸に、本格的な戦略ゲームで多くのファンを獲得したウヴェ・ローゼンベルク。以前の彼は、ひと味違ったカードゲームでお馴染みのデザイナーでした。中でも「ボーナンザ」は、腹の探り合いや相手を陥れることとは縁遠い、「明るくポジティブな交渉ゲーム」として、大きなインパクトを残しました。そして、彼の代表作として長く愛されることになったのです。手に入れた順番通りに使わなければならない手札と、それを元に繰り広げられる交渉を、楽しんでみてください。

手軽に正体隠匿が楽しめる

人狼は苦手だけど気になる……な人に贈る



お邪魔者



濃密な心理戦や駆け引きが楽しめることから今や正体隠匿ゲームの代名詞にもなった「人狼」。しかし、その人気の高さゆえ、やり込みプレイヤーも多く、それがハードルの高さに繋がっている一面も。苦手意識を持っている人も少なくないのではないのでしょうか。もし、あなたがその一人なら、「お邪魔者」をぜひ、試してみてください。「通路カードを繋げてゴールを目指す」という目的の達成を目指すもの、そして邪魔するもの一双方の思惑が入り交じった駆け引きの面白さは正体隠匿ゲームならではの。その面白さを手軽に、それでいて遜色なく楽しめる傑作カードゲームです。

二人用だけど陣取りの面白さがたっぷり



バトルライン好きに贈る

カエサル!



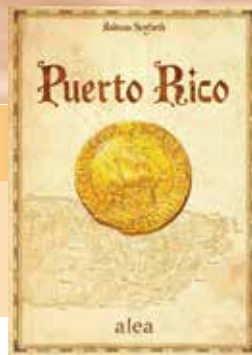
カードを交互に出し、その組み合わせの強さを比べ、中央に置かれた駒を取り合う「バトルライン」は、誰もが認める二人用ゲームの大傑作でしょう。一枚のカードに込められた思惑を探り、カードが出されるたびに変わる状況にハラハラさせられる展開に夢中になった人も多いはず。でも、「カエサル!」も、そんな大傑作に引けを取らない一作です。互いにチップを置いていくだけなのに、刻一刻と変化していく盤面に思わず前のめり。陣取りの醍醐味をたっぷり味わえるのです。加えて、プレイ時間も20~30分ほどというテンポの良さ。二人用の良作を探しているなら、ぜひ。

長らくゲーマーの評価No.1 だった重量級ゲーム



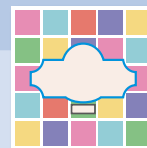
テラフォーミング・マーズ好きに贈る

プエルトリコ



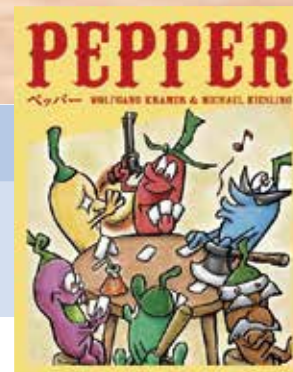
火星の地球化が目標。地球化の度合いを見ながら、プロジェクトカードをプレイしていく中で、拡大再生産やセットコレクションといったゲームのギミックが「テラフォーミング・マーズ」には含まれております。そんなテーマやギミックがお好きな方には、ぜひ「プエルトリコ」もプレイしていただきたい。自分の島を開墾や施設建設を行うことで発展させることがテーマとなっており、その開墾した畑や建設した施設の組み合わせによって、拡大再生産やセットコレクションといったギミックを味わうことができます。北米のボードゲーム市場に、ユーロゲームとは何たるやを知らしめた作品の1つとされている「プエルトリコ」をプレイしてみてもいいでしょう。

名は体を表す名作ゲーム



アズール好きに贈る

ペッパー



美しい見た目とは裏腹に、自分の利益と他人の損のどちらを取るかのジレンマに悩まされる「アズール」。その作者であるミハエル・キースリングが、盟友ウォルフガング・クラマーとの共作の「ペッパー」は遊ぶメンバーを選ばないトリックテイキング。トリックを取りたくないタイプのトリックテイキングである「ペッパー」。失点の原因となるペッパーカードは最後の数トリックで、大きく動くことが多いため、それに向けて手札を整理したいものの、そこはマストフォローというルールが自由を奪うので、中々うまくはいかない。タイトルどおりに「ピリリと辛い」名作ゲームを楽しんでみてください。

30年の実績が物語る



カードゲーム好きに贈る

ニムト



ボードゲームを買うにあたって、失敗したくないと思うのは誰もが同じかと思います。そんな人には、2代目メビウスおやじのアドバイスとして、1.Amigo社のカードゲーム、2.ウォルフガング・クラマーが作者のゲーム。この2つのどちらか1つでも満たしているゲームは失敗がまずないです。そんな条件を2つとも満たしているゲームが「ニムト」。事前にプレイするカードを選択することによって、プレイヤーの思惑が交差してしまうのがこのゲームの魅力。登場から30年間にわたって販売されているという実績が物語るように、「いつ」であっても、「どこ」であっても、「誰と」でも楽しめるゲームです。

素敵なゲーマーへ一歩前進



ドラゴミノを楽しんだキッズプレイヤーに贈る

穴掘りモグラ



早い時期からボードゲームを楽しんでいる、将来有望なキッズゲーマーたち。「ドラゴミノ」を十分に楽しめるようになったのなら、1歩進んで「穴掘りモグラ」を遊んでみないか？ ボードの穴すべてに、コマが入ったら、穴に入れていないコマと一緒にボード1枚を取り除くことを繰り返し、最後は一番深い1つの穴にあるゴールデンシャベルの獲得を目指すゲーム。真剣にこのゲームを楽しむことで、使用したタイルを覚えておくことや、一番いい動きのできるコマを考えると、今後のボードゲーム人生を楽しむのには欠かせないスキルが身につくぞ。

好き勝手に言わせてくれ 若手に



メビウスゲームズの2代目メビウスおやじです。

ボードゲームショップの店員としてお客様と接する際に、少し寂しいと感じることがあります。それは、スマホを見ながら店内をキョロキョロされているお客様に、こちらが「何かお探しの物もありますか？」などと声をかけた際に、ネット上の上がっている情報だけですべてを判断しているようなことが、寂しいのです。別に、コミュニケーションをとることを断られたから寂しいわけではありません。一昔前では考えられない量の情報が上がっているため、確かにほぼすべての人が、アクセスできるようになったネットには、欲しくなるというのもよくわかります。それを見ただけですべてを理解した気になるのは、非常によくわかります。さらに、自分の好きなインフルエンサーが取り上げた話題にあった商品は、欲しくなるというのもよくわかります。ただそれだと、「視野が狭くなっていませんか?」「自分の意見って、実は無くなってはいませんか?」と、老婆心ながら思ってしまうのです。一か所からの情報で判断したということは、結果的に自分で判断したのではなく、その情報に踊らされていることになりはしませんか? 自分の時間を削って楽しむ趣味において、自分の意思が薄く、人の情報に流されているとなると、それはもったいなく感じてしまうのですが、どうでしょうか。プレイしてこそそのボードゲームなので、情報集めに時間をかけたくないといった気持ちもわかりますが、ゲームをプレイする際に色々と情報を整理して、考え、悩むように、ボードゲームを買う際にも、少し情報を多方面から集めてみませんか? そうすることで、次回以降ボードゲームを買う際に、より自分に合ったゲームを自分の意見として選べると思うのです。ですので、ネットのおすすめゲーム一覧記事を見ながら、ボードゲームを選ぶのではなく、ショップ店員とのコミュニケーションも活用してほしいのです。そうすれば、少なくとも2つの情報から判断して購入することになりますので、自分の意見で選んだものになるのではないのでしょうか。もちろん、ショップ店員と話してみただけ、自分の意見とは合わなさそうだなと感じたのであれば、それは無視しても大丈夫です。それは立派に自分の意見なのですから。

テンデイズゲームズの高田です。 2022年からテンデイズゲームズで働いています。どんな人物なのか少しでも知ってもらえたらと思います。

テンデイズ
ゲームズで
働く
チャンス

2013年春まで遡ります。ただの1ゲーマーにすぎなかった僕は、三鷹にあるテンデイズゲームズによく足を運んでいました。タナカマさんとは、ボードゲームの話もするものの大半はアメコミの話をして行っていました。そんなある時、話の流れから「うちで働く?」と。二つ返事で働くことを決めました。半年間、週に2日出荷作業などお手伝いしていました。大学の授業が忙しくなり、バイトはいったんやめました。が、その後も一緒にボードゲーム遊んだり、イベントの際にお手伝いしたりと、交流はありました。大学卒業後、一般の会社に就職しましたが、30才を過ぎて仕事も一区切りついたタイミングで転職するなら今だ!と心を決め、タナカマさんに連絡。テンデイズに入ることを快諾いただき今に至ります。テンデイズで働けたことで得られたチャンスは相当大きい。2013年当時、二十歳そこそこの世間知らずの若造を雇ったタナカマさんの懐の深さには今でも感謝しています。さらに、人見知りな僕がチームテンデイズにすんなり入れたのはタナカマさんを中心としたメンバーみんなが暖かく迎えてくださったからです。

オール
タイム
ベスト

ゲーマーは好みのゲームを知ると人となりが大体わかってしまうものかと思います。ゲーマの質問でよくある「私のオールタイムベストゲーム」を紹介します。そのゲームは「アクワイア」です。最初に遊んだ当時は株券の枚数なんて気にしてなかったですし、ルールに沿って遊ぶだけでした。普通のゲームだなあぐらいの印象しか抱いていませんでした。当時はその程度にしかボードゲームの経験値がなかったです。しかし、ゲームのキモがわかると、セオリーを踏まえた戦略、盤面上のダイナミックなゲーム展開など、どの切り口でもおもしろさがあふれ出てきます。数字と英字のみ書かれた無機質なタイルがゲームを通してイキイキと湧き上がってくる感覚は何物にも代えがたい体験です。それ以降変わらずにずっと1番好きなゲームです。

今後

今後少しずつではありますが、イベントや店頭など直接お会いする場面も増えてくるはずですよ。お見かけた際には、お気軽に声を掛けていただければと思います。テンデイズゲームズを楽しいことをドンドンできる魅力的なメーカーへとパワーアップできるよう若い力で励んでいきます。

ストーンエイジ

👤 2~4人 🕒 60~90分 🧑 10歳〜 💰 8,000円(予価) 2024年秋発売予定

デザイナー：Bernd Brunnhofer メーカー：Hans im Glück

タイトルどおり、ストーンエイジ(石器時代)をテーマにしたワーカブレイスメントゲームです。自分の部族を指揮し、発展させることが目的です。発展のために必要な木材・石材・粘土といった資材を調達しに行かせる人員や、部族を養うために必要な食糧を狩猟によって獲得させに行かせる人員、資材を使って建築させる人員といった感じに、部族の人々に対して役割を割り振っていきます。全てのプレイヤーが、全ての人材に対して役割を割り振ったら、割り振られたアクションを全て実行していきます。全てのアクションが終了すると、最後に部族のお腹を満たすために、食料を消費します。この際必要な食糧が不足している場合は、得点が大幅に減らされてしまいます。

効率よく部族を発展させるためには、何をすればいいかを考えながらプレイするゲームです。



クロノロジック：パリ 1920

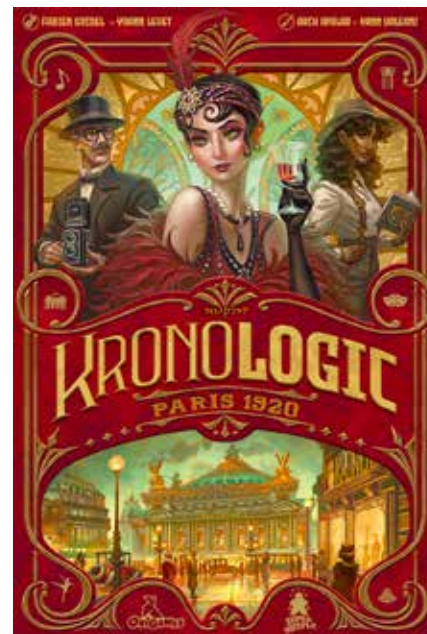
👤 1~4人 🕒 30分 🧑 10歳〜 💰 4,950円

デザイナー：Fabien Gridel, Yoann Levet メーカー：テンデイズゲームズ / Origames, Super Meeple

「クロノロジック：パリ1920」は、6人の重要人物の足取りを追い、事件の真相解明に論理の組み立てと推理で挑むゲームです。

プレイヤーは、毎手番ごとに「ある時間、ある場所に何人がいたか」、「ある場所に、ある人物は何回訪れたか」の情報を手に入れることができます。また、「クロノロジック」には、「各人物は、一時間ごとに必ず一部屋移動する」という決まりごとがあり、この決まりごとを踏まえ、手に入れた情報をうまく組み合わせることが、真相にいち早くアプローチするためのカギになるのです。

各人物の足取りを追いながら事件の真相に迫っていく様は、実際に捜査しているような雰囲気を味わうことが出来、ゲームへの没入感もたっぷり。ぜひ、この雰囲気に浸りながら、ゲームを楽しんでみてください。



謎解き ラリー 2024

2024.7/13(土) ▶ 9/30(月)

nazo-toki.net



今回で3年目を迎えた夏のイベント！
今年も7月13日から始まっています。
すべての謎を解き明かした人には、カワサキファクトリーの川崎晋氏がデザインした謎解きラリーオリジナルゲームをプレゼントしています。
まだ未体験の方は是非挑戦してみてください。
9月30日まで開催中！参加無料ですよ！！

第18回カルカソヌ世界大会に出場するのは誰!?

カルカソヌ日本選手権2024

★ 優勝 溪和彦さん ★

カルカソヌ日本選手権は2011年から開催しており、今年で13回目の開催となりました。溪さんは10回目の日本選手権出場となり優勝を果たした、カルカソヌ歴の長いプレイヤーです。



カルカソヌワールドカップ

The World Team Carcassonne Online Championship

また、ボードゲームアリーナ(BGA)で2020年から開催されているカルカソヌワールドカップ(The World Team Carcassonne Online Championship)略してWTCOCにおいてチームジャパンが4度目の優勝を果たしました。このチームジャパンのメンバーは、ユキ・えしたく・should・はらおお・kai・omoton・piro・新葉・キタラ・アルス以上の10名です。今年はこのメンバーの代表としてアルスさんが世界大会に出場の予定です。

溪さん、アルスさん2名の日本代表に応援をよろしくお願いいたします。

第18回カルカソヌ世界大会は10月5日ドイツ・ヘルネ市で開催
Essen Spiel 2024は10月3日~6日開催

まつながのふりかえりコラム

こんにちは、まつながです。
秋に向けてどんどん新作ボードゲームが発表されていますね。

ボードゲームがたくさん発売されるようになり、
自分の好みのボードゲームだけでも
たくさんの選択肢から選べるようになりました。

1度遊んだボードゲームよりも新しいボードゲームを遊びたい
ノンリプレイ派の方も多いですが、
「〇〇が好きなら、あのボードゲームも好きだと思う！」
とおすすめされると、楽しい要素はそのままに
新しいボードゲームにチャレンジできるのでいい事づくめ。

お気に入りのボードゲームがある方はメビテン！がおすすめする
ボードゲームもぜひ遊んでみてくださいね。

ちなみに私は人狼の待ち時間に遊んだお邪魔者から
ボードゲームを知って、ハマっていきました。
人狼が好きな人にもお邪魔者は本当におすすめです。

まつなが
(松永 彩)



ボードゲーム専門の総合情報サイト、
ボドゲマの管理人。
ボドゲ特化クラファン・ボドファンも運営中。
bodge.hoobby.net

編集後記

今年の夏は乾麺の冷やし中華にハマりました。各メーカーの商品を食べ比べて楽しい！そして美味しい！
「メビテン！」を置いていただけるお店を募集しています。

mebiten.jp

✉ mebitengames@gmail.com

✉ @mebitengames

編集:メビウスゲームズ、テンデイズゲームズ、長塚美奈子
本書の無断転載・複写ご遠慮ください。